

第2回 第3分科会会議録（概要）		場 所	早稲田大学国際会議場 第1会議室
日 時	平成17年 7月 7日 午後18時30分～午後21時00分	記録者	【学生補助員】 安達、羽場
		責任者	区事務局（黒澤）
会議出席者：56名 傍聴者1名 （区民委員：47名 学識委員：2名 区職員：4名 コンサル：3名）			
■配布資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市マスタープラン ・ 区民会議自己紹介カード(冊子) ・ 新宿まちづくりマップ ・ 第3分科会(第2回目)次第 ・ 本日の資料1～4 <ul style="list-style-type: none"> 資料1:基本構想、基本計画について 資料2:都市マスタープランについて 資料3:中間のまとめまでのスケジュール(案) 資料4:まち歩きをしよう ・ 前回の議事録:第1回 第3分科会議事録(概要) ・ 意見提案カード、分科会欠席の際に意見を書く用紙。FAX 又は郵送。 ・ 資料提供希望カード、分科会で使用したい資料の要請 ■進行内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 基本構想、基本計画について 3 都市マスタープランについて 4 2・3の説明を受けてグループディスカッション 5 今後の分科会の進め方について 6 まち歩きの進め方について ■会議内容 【発言者】 ●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員 ▲：コンサル <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ◎ :前回の会議でリーダーが決まっていまではこちらで司会をしますということでしたので、今回はこちらで進めさせていただきたいと思います。2時間半しっかりした議論をしたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。最初に企画政策課の黒澤さんから、配布資料の確認をしていただきます。 ○ :配付資料の確認及び連絡事項の説明 			

◎ :ありがとうございました。それでは、本日の次第に沿って行います。本日の次第は、

1. 基本構想・基本計画(15分) 企画政策課より
2. 都市マスタープランについて(15分) 都市計画課より
3. グループディスカッション(45分)
4. 今後の分科会の進め方について
5. まち歩きについて

このプログラム1・2を行う理由は、基本構想・基本計画、都市マスタープランを作るにあたって、必要な知識について勉強し共通認識を持ちたいからです。

それに対して、グループごとにディスカッションをして全体に反映していきます。

2 基本構想、基本計画について

○ :資料1をご覧ください。

基本構想について

基本構想とは区のまちづくりにあたって、区の将来像や基本的なビジョンを示したもので平成9年に今現在の基本構想は策定

基本構想の基本理念

1、人間性の尊重 :誰もが個性ある人間として平等に尊重され、平和な社会の中で、安全かつ自由で健康に生きる事は憲法で保障された基本的な権利であり、これを将来にわたり尊重する。

2、自立と交流・連帯 :区民一人一人が豊かで幸せな生活を実現するためには、区民が個人として自立し、互いにふれあい、信頼を持って支えあう、交流・連帯の地域社会を築いていく。

3、地域性の重視 :それぞれの地域の個性ある生活のや文化は、前任の知恵と努力の結晶であり、この地域性を重視して、区民の主体的な参加のもとに、住みよい地域社会や調和の取れたまちづくりを進める。

現在の新宿区の将来像

「ともに生き集う町、ともに考えつくるまち」

基本目標

新しい新宿像の実現のために、基本目標5つの柱を策定

- 1.健康で思いやりのある町
- 2.ともに学ぶ、文化とふれあいのある街
- 3.安全で快適なゆとりのある街
- 4.賑わいと魅力あふれる街
- 5.身近な環境に配慮した、地球に優しい街

基本計画について

基本構想を受けて、構想を実現するために、方向性を体系的に示すもの
区の行政計画として平成9年12月策定

計画期間は平成10～19年の10年間

前期(10～14年)、後期(15～19年)5年ごとに分けて計画

基本計画の構成は、計画の背景、方向、内容、体系等

計画の背景 :新宿区の人口・状態の将来予測、土地利用などを背景にしている

計画の方向性 :重点的に取り組む方向性を6つの考え方で示しております(後期基本計画、1-11ページを参照)

- 1 共にささえあう地域福祉
- 2 安全なまち・安心できるまち
- 3 地域でつくる環境にやさしく美しいまち
- 4 区民と行政のパートナーシップによるまち
- 5 生きる力をはぐくむ教育
- 6 新たな区政運営のしくみづくり

計画の体系 :基本構想≧基本計画≧実施計画の三層構造

今回議論してもらうところ(基本構想と基本計画について)

- 1 今の基本構想のどういう部分の視点が足りないのか
- 2 区の施策の方向性に足りない部分について

◎ :ありがとうございました。企画政策課の黒澤さんから説明頂ました。

質問は都市計画課の都市マスタープランの説明の後にまとめてお願いいたします。

3 都市マスタープランについて

○ :なぜこの都市マスタープランは必要なのか

- ・住人とまちづくりの理念、都市計画を共有するため

都市マスタープランはどうなっているのか

- ・都市マスタープランの上位計画として基本構想(新宿区作成)と整備・開発及び保全の方針(東京都が作成)

① 新宿区の都市マスタープランについて

- ・成長型のまちづくりから成熟型まちづくりに転換
- ・定住と優しさ
- ・地域からの参加のまちづくりを重視

② 都市マスタープランについて区民会議で検討して欲しい点

- ・将来像と部門別まちづくり方針
- ・まちづくり実現方針の左側のライン(テーマ別)
- ・地域別については出張所単位の地区協議会で検討

③ 将来都市像について

- ・「生活都市」:食住遊というすべてがある生活が新宿。開かれた都市、魅力ある都市、快適な都市という位置づけ

④ 都市構造について

- ・ 複層多元的な都市構造(新宿駅部分)
- ・ 基礎多元的な構造(高田馬場など)
- ⑤ まちづくりの方針(以下の6つに分類)
 - ・ 土地利用の方針
 - ・ 都市交通整備の方針
 - ・ 住宅住環境整備の方針
 - ・ 防災都市づくりの方針
 - ・ みどり・公園整備の方針
 - ・ 都市アメニティの形成の方針
- ⑥ 地域別整備方針
 - ・ 7地域にエリア分け(都市マスタープラン参照)
 - ・ 大久保・柏木地域を事例紹介
- ⑦ まちづくりの実現の方策
 - ・ 資料にある1~4の実現方策を位置づけ
 - ・ 新宿区の方策の紹介
 - ・ 新宿区の方策の図示(新宿まちづくりマップを参照)

4 グループディスカッション

- ◎: 基本構想、基本計画と都市マスタープランについてポストイットに質問(ピンク)、意見(黄)に1意見1枚に記述。その後、模造紙に張りながらディスカッション
 - ・ 時間: 20分程度
 - ・ 全体への意見の発表: 1グループ2~3分、全6グループ

グループディスカッションの結果発表

- ◎: それでは各グループの発表をお願いしたいと思います。もちろん今、意見あるいは質問のなかで今すぐそれを議論しようとかではないのですが、むしろ答えられるものには答えた方が良くと思うのですが、次回までに整理して答えていこうと事務局サイドでは考えています。

▲ 1グループ目

- ・ 都市マスに関する質問
- ・ 高さの問題(高度地区指定の問題、状況について)
- ・ まちづくりマップの主旨について
- ・ 福祉のまちづくりの状況の今について
- ・ 防災の問題(具体的な対応、状況について)
- ・ 住民の範囲について(ワンルームの人や外国人が住民として入るのか)
- ・ 町会の体制(連絡体制は十分なのか)
- ・ 成熟段階の話ではもっと多くの要素があるのではないか

▲ 2グループ目

- ・ 超高層について
- ・ 地域性について
- ・ バリアフリーについて
- ・ 事業振興についての意見（再開発など）
- ・ 施設利用には安全性が重要、見直しが必要
- ・ このグループ全部で計画ができるのか、グループ分けをすべきか
- 3グループ目
 - ・ 基本構想の考え方（人口の増減に対してどのようなスタンスで考えるべきか）
 - ・ 区民会議の成果はどのような形で基本構想、マスタープランに反映されるのか
 - ・ 防災の話が抜け落ちているのではないか
 - ・ 復興の考え方が抜けているのではないか
 - ・ 基本構想とどのようにリンクしているのか
- 4グループ目
 - ・ 細かい問題は他のグループと同じ
 - ・ 基本計画が実体としてどのように推進、実施されてきたのかを説明して欲しい
 - ・ 今後どのように将来を考えていくかが問題（地域性が異なる場所を1つに考えるのもどうなのか）
- ▲ 5グループ目
 - ・ 理念について（地域性を具体的にどう推進するのか）
 - ・ 多文化共生の視点が欠けているのではないか
 - ・ 生活都市という都市像に区民が共感しているのか
 - ・ 人口の問題（区として増加希望なのか、人口20万程度がふさわしいのでは）
 - ・ 防災の視点が抜けているのではないか
 - ・ 防災訓練が実際に役立っているのか
 - ・ 道路に関して（街路樹、看板の乱立）
 - ・ 低層住宅密集地で耐震のまちができるのだろうか
 - ・ 今後毎回グループでものごとを決めていくのか？
- 6グループ目
 - ・ 策定において想定している人口はどれくらいなのか
 - ・ 都市の開発などにおいて他の区に負けている部分があるのでは
 - ・ 空きビルの問題（歌舞伎町など）
 - ・ どのような構想で避難経路を作っていくのか
 - ・ 自動車交通、道路状況について（歩車分離、自動車優先の問題など）
 - ・ グランドデザインについて（内容、位置づけなど）
 - ・ 地区センター10区の地域分けについて資料が欲しい
- ◎ グループディスカッションを総括して

- ・ 明らかな質問については次回返答
- ・ 今後の進め方については事務局で打ち合わせで次回発表
- ・ 現行の基本計画について評価をしていくべき
- ・ 都市マスについては災害の問題と高さの問題についてはさらに勉強を深めながら実施しなくてはならないのでは
- ・ 個別の事は次回までに整理して先に進めたい

5 今後の分科会の進め方、まちあるきについて

◎ : 後半では第3分科会の進め方を話し合いたいのですが、私どもでたたき台を作ったので発表させていただきたいと思います。

今後の分科会の進め方（「中間のまとめまでのスケジュール」を参照）

- ・ 分科会を3つのステップに分割
 - 1、第1ステップ：学習会（全6回）とまちあるき（全6回）、その後の「まちあるき予備日」と「まちあるき発表会」を合わせて計16回予定。80人近い参加者の情報共有を目的。10月20日まで
 - 2、第2ステップ：テーマ別の討論会。11、12月の月2回ずつの計4回。
 - 3、第3ステップ：中間発表会への準備
 - ・ 学習会に関して
 - 1、まちなみ・景観（7月21日）
 - 2、住宅と住環境整備（8月2日）
 - 3、安心・安全の問題、災害の問題（8月25日）
 - 4、交通、ユニバーサルデザイン（9月6日）
 - 5、みどりとエコロジー（9月22日）
 - 6、新宿区の土地利用、新宿区ランドデザイン（10月2日）
 - ・ 学習会の当日スケジュールのイメージについて
最初の1時間を情報提供、後半の1時間30分をテーマについて議論
 - ・ 分科会スケジュールに関して
第1週の火曜日と2週間後の木曜日（ただし、8月はお盆のため変更）また、まちあるきを9、10月の土曜日に毎週行なう。
 - ・ 議論内容に関して
10年先、20年先のための基本構想や都市計画マスタープランについて
 - ・ 代案に関して
各自のテーマに早く分かれたい場合は、10月からまち歩きと平行して行なう案を提示
- ▲ : まち歩きの進め方について（「まちあるきをしよう」参照）
- ・ まち歩きとは何か
じっくり街の状況を観察し、資源、課題を見つけること

- ・実施時期について
9月、及び10月3週までの土曜日、時間は午後を設定
- ・地域の分け方、コースについて
新宿で分けた10地域を6地域に分割。1日に1地域を回る。計6日間。
各コース4, 5キロ（大体1時間で歩ける距離）を説明まじえて2時間30分程度。
コースについては区民の方が設定
- ・まち歩きの実施方法について
10名程度に分かれて各グループに世話役をつけて回る
- ・企画方法について
次回以降の分科会で区民の方が中心に企画
実施予定日も重ならないように調整を

6 質疑・応答

- ◎ : ありがとうございます。今、まちあるきの話と全体のスケジュールの説明をいただいたのですけれども、まず簡単な質問。ちょっとこういうところがわからない。という質問から受けたいのですが何かありませんでしょうか？
- : (スケジュールですが) 場所はここですか？会場はいつも変わるのか？ということですか。
- : 今のところ、21日まではこちら(の会場)で行います。それ以降、8月に入りましたら区役所第2分庁舎、旧四谷第5小学校があったところ、そちらの方に100名ほど入る部屋が一つございますので、そちらを使って行きたいな。と思っております。日にちが決まりましたら場所を押さえますので、第2分庁舎が駄目な場合は他の場所で、教育センター(コズミックセンター)5階の大会議室、または、清掃事務所、高田馬場から歩いて5分くらいのところですが、そちらの方にも会議室がありますので分庁舎含めて3箇所ぐらいでやっていきたいな。と思っております。なるべくいつも同じような場所を使ってやっていきたいとは思っています。
- : まち歩きは良いのですが、例えば9月3日は13時から16時になっていますが終わったらこれはすぐ解散してしまうのか。今、話になっているようにどこかに少し寄って討論しないとお互いに勝手に帰ってしまったのでは意味がないので、やはり何人かで見れば見方が違うのでそこは話し合う時間が30、40分でも持たれるような事になれば良いと思うのですが。
- ▲ : ありがとうございます。今のような形で考えています。ただ会場の問題がありまして出張所を集合点、到着点にしてそこで簡単な意見交換をしてまちあるきを終える。という形を想定しています。
- ◎ : 他に何かありませんか？今の質問などはかなり進め方の話になっていると思うのですが、もう少しこういう風にした方が良いとか、このテーマを入れたら良

いとかありませんか？

- : 学習会 6 回なのですが、いろいろな切り口で順番にあげていただきましたが、私が思うに学習会 6 のまちづくりグランドデザインの中身なのですけれども、中身を見たら 20 ページほどで終わっていますので、これを基本構想をやった後にやってそれぞれ出た内容についてこれはどう思う？というようなディスカッションを先にやった方が後のための参考になるのではないかとそれから安全の事にも触れていますし、中身が総花的に色々入っていますので、そういうものを先にやった方が。これを最後にやると総括のようなものになってしまう。私は最初の方が良いと思います。
- ◎ : ご意見ありがとうございます。今のものに関連して何かあれば。
- : テーマの設定なのですが、今出ているものは基本的なものだと思うのですが、最近、まちづくりの事をする時、かなり産業の問題、歴史、文化の問題というものが重要になってきていますが大体、今までのマスタープランでは 1 番最後に少し書いておしまい、実際の位置づけなどは何もしない。という状況だと思うのですが、そうではなくて新宿に住んでいる以上は、新宿区に愛着を持つとか地域にきちんと住むということになるとソフトな話とかあるいは経済的な問題とかの事がハードと直接的ではないにせよ、間接的には重要な役割を担っていると思います。ですからその辺の問題もどこかにいれておけるようにしておくか、あるいは最後のところでグランドデザインのようなものでなくて一つぐらい空きコマを用意しておいて議論の足りないものはそこに入れるような事をしてはどうか。あとまち歩きの話なのですが、私は神楽坂でまちづくりをやっているのですが草案でいくと 2 番で 9 月 10 日になっているのですが、地元でありながら私は協力できない。参加できない。それで 10 月 1 日から 16 日までというのが神楽坂界隈の秋の文化祭という大イベントがあるので、そういったところで入れ替えをしていただければ、別の人間で調整できるのですが。
- ▲ : それはまだ決まっていない状況で印が同じもので恐縮ですが、その順番ではないです。これから決めていっていただきたいと。
- : そうということですね。わかりました。
- : 説明会であればこういう配置でも良いと思いますが会議の場合には丸くという形にならないでしょうか？例えば 1 重で無理なら、2 重にするとか。まちづくりの話をしたくて皆さん、来ているわけですからそういう形に話し合いの場を（全体で話す時は）作れませんか？
- : 私はまち歩きすべてに参加できる自信がないのですが、できたら計画を作った冊子のようなものをポイントを入れていただいて、別の自分の時間で一人でも見られるようなそういった形を希望するのですが。

- ▲ : まち歩きのルート図はきちんと作りましてみなさんに配布しまして、もしこれがない場合は回っていただければ。と思っています。
- : まち歩きの6区画は良いのですが、歩く時の視点は、例えば、5番の柏木などは歌舞伎町とかビル街とかでいわゆる都心、民間の業者が主体的に扱っているところですからどうしようもないと思います。だから行政がなんとかできるというビルなど、1000㎡以上は計画条例でチェックされますが、行政のプランですから力の及ばないところを見てもしょうがない。だから視点はあくまでも住宅街、要するにわれわれ住民が主役のところ、住民の意思によって変えることのできる場所に視点を置いて回るということを言いたい。いかがでしょう？
- ◎ : 都市マスタープランというのは行政のプランという側面もありますが、そこで暮らしている区民の方、企業で働かれています方、全部含めて、みんなのマスタープランという認識なので、行政の力が及びにくい点をご指摘の通り多々あるのですが、それを含めて一緒に議論をしてどうすれば及びにくいところに協力を得られるのか。ということを一度考えてマスタープランを作ったほうが良いように思うのですね。ですからまち歩きをする時は、その地域の持っている課題というものをおさらいしておくのかな、やって欲しいと実は思っています。もちろん、書き方は違うと思いますが、やはり全体をやって欲しいなと思います。
- ◎ : 関連した意見というよりは個別の意見になってしまったので少し戻って、まちづくりランドデザインの話が一つありました。これについては私たちも少し、話しをしたのですけれども、基本構想、基本計画、都市マスタープランが行政の正式な計画である一方でまちづくりランドデザインは区長からのメッセージという側面が強いという側面を感じたために、最後にしています。確かにご意見いただきましたように色々な事が書いてありますので、必ずしもこれを総括の意味でここに置いたわけではないのですが、前の方に持ってきてはどうかというご意見ですが、皆さんどうでしょう。
- ◎ : 今、まちづくりランドデザインについてご存知の方はいらっしゃいますか？
(手が拳がる) 結構、いらっしゃいますね。では皆さんもご存知でいらっしゃるならば、7月21日までに印刷は間に合いますか？
- : 間に合います。
- ◎ : ではこの日(7月21日)に少し紹介しましょう。確かに行政計画ではないという事はあっても現区長のメッセージでもあるので勉強会で学習会と言う事で景観の1回目のところに持っていきたいと思います。それからもう1つ産業、文化についての話なのですが学習会6というのを最初は予備にしておいたのです。ところがですね、やはりどこか抜け落ちてしまうことあると思うので新宿の土地利用というホワーっとしたものを入れたのが正直なところで、ここで産

業・文化・歴史というものを触れるというものにしたいと思います。

- : これから学習会をする前にレジュメと参考図書を示していただけるとありがたい。メールでもかまいませんので。予習の時間をください。
- ◎ : 2週間に1回はありますのでこちらも結構、大変なんですけど・・・努力します。
- : 結局、(学習会の)1回目にまちづくりランドデザインを行うという認識でよろしいでしょうか？これは多分、さきほどのランドデザインの話を読まれた方の主旨としては、どちらかというとランドデザインが重要なわけではなくて今回、分科会を考えていく中で全体としてどういう要素が入っているのか。もちろん景観も災害も交通も入っているしということがあると思うので都市マスの内容もそうなのですが、他にも「みどりの基本計画」、「ランドデザイン」などもあるので、今、区としてどういう計画を持っているのか、全体としてどういう要素があってどういう勉強をしなくてはいけないのか。というある意味、今はまだ個別に言ってますけど、まずは全体的に分科会を見ていこうという方針にされると良いと思います。
- ◎ : おっしゃる通りの主旨だったと思います。景観の中に入れるのではなくてという事ですね。他にありますか？
- : 都市マスの地域別の計画と、今回のまちあるきの区分と若干、違うところがあるのですよね。特に私の地域で言うと都市マスで出している地域別方針の方が区分が現実的なんです。これでは生活圏が現実になっていませんので、今回のまち歩きはできればこれとの実証にもなりますので、ここに地域別の非常にディテールの細かい計画が載ってますよね。これと実証しながら歩くという意味でもあまり別な区分で歩かせるのはいかがかな。という風に思うのですが。こちらの図は非常に分かりやすく、具体計画出てますよね。これをある程度ベースにしたいので、(今の状況だと)分断されるので、柏木などは。実際、大久保と柏木は生活圏は駅を中心に考えても同一圏なのでこういう区分(まち歩きの区分)で動いている人は非常に少ないですよ。こちら(都市マスタープラン)を見るとやはり大久保とセットで計画されているのでこの辺は若干、変更していただければと思うのですけど。
- ◎ : ありがとうございます。この地域分けをしたのは1日で、まちあるきの回数をあまり増やせない悩ましい中で、こういう風になってしまったのですが、今、貴重なご意見をいただきまして、どういう風にしますか？
- ◎ : 柏木が違いとしては大きいですね。
- : こちらの図(都市マスタープラン)がきれいな色で書いているのでこれを実証しながら歩くべきだと思うのですよね。さきほどの方もおっしゃったように、何年間で、どうできたかを見るために

- : 都市マスタープランの区域で分けたらどうか？数的にはそれほど変わらないので。
- ◎ : 一つ増えるだけということですよ。
- : さきほどのご意見のように実証するべきだと思うのですよね。
- ◎ : まさにそのとおりですよ。では今、10月15日をまち歩き予備日として取っていますが、そこを⑦としていければ今いただいたご意見を反映できるかと思うのですが。いかがでしょうか？よろしいですか？じゃあ今、ご意見いただいたこれ（都市マスタープラン）でいうと39ページですかね？の7つの区域にわけて実証する。実現がどうなっているかを実証しながら歩く。と言う事でまち歩きを7班に分かれましてするということですよよろしいでしょうか？
- : 私は若松なのですが、若松は独立させない方が良いと思います。あまり歩くところがないですね。雰囲気的には筆筒や榎と似たような所も持っているのもともとの予定通りその2つは一緒に良いのではというアバウトな話ですいません。
- ◎ : いかがでしょうか？若松、筆筒、榎は一つでも良いのではないかと。そうするとともとの6個に収まる事になりますが。いかがでしょうか？
- : 今のご意見伺ったのですが、私は若松地域のもので、今ここに「新宿まちづくりマップ」というものがありますが、右半面の2というところに東京女子医科大学が書いてあります。この左に細かく青線でラインが入っていて第3次事業化計画というグリーンのラインが入っているこの辺が富久町なのですが、この辺は保存住宅密集地域で第3次事業化計画や薄くブルーに塗られている再開発地域になっているわけですので、事業中路線というのが若松区民センターから赤くまっすぐ降りていますが、一部行われている状況で、若松出張所にも近いのでまた帰りにここで討議するにも都合が良さそうだと思うわけです。
- ◎ : ありがとうございます。そうしましたらですね、6にするか7にするかこちらでもう1度検討させていただきまして、ただ少なくともそうしたグループに分けてまち歩きをしていくことよろしいでしょうか？それでは次回からはそれぞれの地域にグループ分けをこちらの方でしておきたいと思います。さきほど全体の話は全体でしょうという話もありましたけど、グループで座っていただいて、このスケジュール案を見ていただくと7月21日、8月2日、8月25日に小さく2行目にまちあるき検討と書いてあると思いますが、これの主旨はグループになっていただいて、まち歩きの企画をしていただくということで毎回30分程度をそういう時間にあてたいと考えています。時間もなくなってきましたのでご意見あれば1、2個伺って終わりにしたいと思いますが。
- : 勉強会の時にどこまで実施されているかという資料を必ず頂きたいです。
- ◎ : はい。ありがとうございます。他にありますか？

- : 第2ステップの11月、12月するということですがスムーズに移行するために第1ステップでグループ分けですとかをした方が良いと思います。
- ◎ : わかりました。ありがとうございます。次が最後で
- : まち歩きだけではなくて東京都の図書の中に災害時に大切など動くかというものがあったと思うのですがそういうところを見学するとか、そのような手はずはしているのでしょうか？
- ◎ : 必要であれば見学会も考えていきたいと思います。ということで時間ぎりぎりになってしまいましたが、以上でよろしいでしょうか？それでは次回は7月21日木曜日で6時30分からまた同じ場所ですよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

以上

